

オバマ政権、2017年度予算要求を発表（2月9日）

オバマ政権は2月9日、2017年度予算要求を発表した。大統領は、研究開発費として、2016年度予算レベルから4%増の1,520億ドルを要求し、その中で基礎研究費は同3%増に相当する9億7,500万ドル増の344億8,500万ドルとなっている。主要分野における具体的予算要求は以下の通り。

・国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）：前年度比2.6%増の331億ドルで、この中にはバイデン副大統領が主導する「がん撲滅ムーンショット（cancer moonshot）」予算6億8,000万ドル、プレジジョン・メディシン・イニシアティブ（Precision Medicine Initiative）予算2億3,000万ドル（前年度比1億ドル増）、「ブレイン（Brain Research through Advancing Innovative Neurotechnologies：BRAIN）」イニシアティブ予算1億9,500万ドル（前年度比4,500万ドル増）などが含まれる。

・食品医薬品局（Food and Drug Administration：FDA）：前年度比約1%増の27億4,000万ドル。
・疾病管理予防センター（Centers for Disease Control and Prevention：CDC）：前年度比3.6%減の69億5,000万ドル。

・環境保護庁（Environmental Protection Agency：EPA）：前年度比2.7%増の7億5,420万ドル。
・エネルギー省（Department of Energy）科学局（Office of Science）：前年度比4.2%増の56億7,200万ドル。

・米航空宇宙局（National Aeronautics and Space Administration：NASA）：前年度比1.3%減の190億2,500万ドルであるが、科学局予算は前年度とほぼ同じ56億100万ドルを要求。

・米科学財団（National Science Foundation：NSF）：前年度比6.7%増の79億6,400万ドル。

一方、教育省（Department of Education）の自由裁量予算として、前年度比2%増に相当する13億ドル増の694億ドルが請求されている他、新たに加えられた強制的拠出（mandatory funding）として1,397億ドルが予算に含まれている。高等教育関連の主要な内容は以下の通り。

・コミュニティカレッジ2年間の学費無料化を提案する「米国カレッジプロミス（America's College Promise）」予算として、今後10年間で強制的拠出610億ドルを要求。

・「早期修了のためのペル・グラント（Pell for Accelerated Completion）」を通してスケジュール通りの学位取得を支援・奨励。

・学年度を通して1学期あたり最低15単位を取得した学生に「オン・トラック・ペル・ボーナス（On-Track Pell Bonus）」を通してペル・グラントを余分に300ドル支給。

・多数の低所得層学生を入学させ、スケジュール通りに卒業させた大学に対し、「大学機会・卒業ボーナス（College Opportunity and Graduation Bonus）」プログラムを通して報酬を支給。

American Association for the Advancement of Science, Budget 2017: Read our roundup of Obama's science funding requests

<http://www.sciencemag.org/news/2016/02/budget-2017-read-our-round-obamas-science-funding-request?rss=1>

Department of Education, President Obama's 2017 Budget Seeks to Expand Educational Opportunity for All Students

<http://www.ed.gov/news/press-releases/president-obamas-2017-budget-seeks-expand-educational-opportunity-all-students>